

令和5年6月9日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 村山 俊雄 様

班 長 松田 光也

記録者 三宅 和広

班 員 武田 正二

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和5年5月15日（月） 午後7時 ～ 午後8時30分	
2 会 場	市立天童北部公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	6名	
5 報告内容	令和4年度の議会活動状況など	
6 意見・要望等	出された意見等（市民）	当日の回答（議員）
	<p>市民 小牧市中央図書館の視察は天童市立図書館の改修を見据えたものか。 図書館は生涯学習のための施設であり、閲覧スペースが大事である。図書館で勉強する小中学生も多い。 天童市の狭いスペースで、先進的な図書館にしようとしても、厳しいところがあると感じる。 開架書庫と閉架書庫にはそれぞれの目的があるが、それらを見据えて検討してほしい。 市民にどのようなサービスが提供できるかという観点が必要である。</p>	<p>議員 今年度、市立図書館のリノベーションの検討を開始する。そのために先進地を視察した。 小牧市中央図書館では、机といすがいたる所にあり、ほとんどのスペースで会話ができ、また、飲み物が飲むことができ、貸し出す中心の図書館ではなく、くつろぐための図書館であった。 今後の検討の参考にしていく。</p>

	<p>市民 地域づくり委員会でサケの稚魚放流をしているが、遡上するサケの姿を天童北部小学校の児童に見せたい。 サケが遡上しない様々な問題があると思う。何%が最上川までたどり着くのか、何%が戻ってくるか、サケが遡上する河川なのかなどを市の教育委員会や担当課で調べてほしい。</p> <p>市民 成生の堰提を撤去した。その付近までは上がってくるが、そこから上流には水がないためか上がってこない。留山川ダムの水を遡上の時期に流してもらえれば上ってくるかもしれない。</p>	<p>議員 成生でもサケの稚魚放流をしている。乱川と押切川が合流する地点付近で漁協が遡上するサケを獲っているが、その時に成生小学校の児童に見せている。 遡上する姿を児童に見せられる方法がないかを検討するように所管課に伝える。 また、地域づくり委員会でも見せる方法を考えていく必要があるのではないか。</p> <p>(調査結果) 最上川第2漁業協同組合によると、令和4年度は、押切川に29,000匹のサケの稚魚を放流し、乱川で47匹のサケを捕獲している。 成生小学校でサケの遡上を観察しており、北部小学校でも同様の活動を希望される場合は、遡上時期等について情報提供していきたい。</p>
	<p>市民 学童保育所が古くなってきた。また、入所者が増えてきている。市に要望を出しているが、その後の展開はどうなっているのか。</p> <p>市民 「検討している」という回答のみで、具体的な動きが見えない。 今年、天童北部学童は70人を受け入れており、小学校の体育館のギャラリーを借りている。市内で最も古い施設でもあり、できるだけ早く改築してほしい。</p>	<p>議員 予算的な制約があり、順序を決めて対応せざるを得ない。 北部学童の改築、北部第二学童の増築についてはまちづくり懇談会で要望がだされ、「改善等で対応していく」「各所の入所児童数を調整して運営してほしい」と回答されている。</p> <p>議員 要望書が出された時点以降に新たな宅地が造成されてきており、今後、利用者が増える状況にあ</p>

	<p>また、北部第二学童は元々が学童保育協会で建築した施設で非常に狭い。増築が望まれるが、できれば北部学童の改築に合わせて対応してほしい。</p> <p>入所率39%ほどになっている。「日本一の学童保育」を目指しているので、議会としてのお力添えをいただきたい。</p>	<p>る。そうしたことも伝えていく必要があるのではないか。</p> <p>(調査結果)</p> <p>天童北部地区の学童保育所については、増加する利用児童や感染症対策における分散活動に対応するため、今年4月から小学校の体育館のギャラリーを借用しているが、国の面積基準による3施設の定員の合計は178人となっており、定員までにはあと30人程の受け入れが可能な状況である。</p> <p>天童地区学童保育協会と相談しながら、それぞれの施設の規模を最大限に活用した入所調整や有効な利用方法について、お互いに知恵を出し合いながら考えていく。</p> <p>学童保育所の改築や増築は、他地域の利用児童の状況と市有施設全体の整備計画も考慮し、総合的に検討しなければならない課題と考えており、現時点では、児童たちの生活に支障がないよう、必要な修理、修繕等を実施し、安全確保に努めていく。</p>
<p>市民</p> <p>今年の人間将棋にはたくさんの外国人観光客が来場した。観光ボランティアガイドが整っていない状況であり、このままやっていると悪い印象を与えてしまわないか心配である。体制を整えようとしても若い人が入ってこない。研修が必要であるが、そのための資金援助が欲しい。また、英語の研修も必要である。</p>		<p>議員</p> <p>所管課に伝える。</p> <p>また、ボランティア仲間で話し合ってもらうことも必要ではないか。そこで具体的に必要な支援策を話し合ってもらいたい。そこで出た支援策をまとめて市に要望してほしい。</p> <p>(調査結果)</p> <p>支援策については、観光ボランテ</p>

	<p>天童市はいいところである。観光立市が可能であると感じている。</p>	<p>ィア団体と協議しながら検討していく。</p>
	<p>市民 外国人実習生が増えている。外国人実習生を観光ガイドとして市職員に採用してはどうか。 天童市をPRでき、観光をもっと盛んにできるものとする。行政として力を入れてほしい。</p>	<p>議員 市の職員として採用し、それが民間企業にも普及すれば、天童市に根ざした形で観光などいろいろなものに結びつけられればいいと思う。 こうした提案があった旨を所管課に伝える。</p> <p>(調査結果) 外国人実習生を観光ガイドとして募集し市職員として採用することについては、今のところ考えていないが、今後も、外国人観光ガイドの需要の把握に努め、必要に応じて検討していきたい。</p>
	<p>市民 高齢者だけであるためにごみステーションの当番ができない家庭が増えている。いずれ若者にしわ寄せがくる。 ごみ収集車の小さいものを購入して、自宅の前まで収集に来るようにできないか。藤沢市でやっているようだ。やっているところを視察してほしい。</p>	<p>議員 所管課にそうした取り組みについて調査してほしい旨伝える。</p> <p>議員 ごみ収集はクリーンピアでやっている。天童市独自のゴミ収集ができるかなどの課題がある。 高齢化社会を踏まえて検討しなければならないことである。</p> <p>(調査結果) ごみステーションの当番等は、町内会・隣組等で話し合っ決めていくことから、高齢者世帯等の理由により当番ができない場合は、町内会や隣組等で話し合っ決めていくなどの対応をお願いしたい。 また、本市のごみ収集運搬・処理</p>

		<p>業務は、3市1町（東根市・村山市・天童市・河北町）による共同処理となっているため、現時点で市単独による戸別収集を行うことは困難である。</p> <p>なお、高齢化社会におけるごみ出しなどの課題については、先進事例などを参考に、今後検討していく。</p>
	<p>市民 北部地域で店がなくなったり、医院がなくなったりと生活の場としてさびれてきている。行政で考えてほしい。</p>	<p>議員 北部地域は生活するにはいいところだと思う。</p> <p>議員 市街化調整区域があるため開発できないとの意見があるが、市街化調整区域をなくしどこにでも住宅を建てられるようにすると、道路の整備が必要になり財政的に厳しくなってしまう。 市民に説明できる開発をしてほしいと執行部には言っている。</p>
	<p>市民 山口西工業団地に新工場を立地する(株)メイコーさんでバイオマスボイラーでの発電を計画していると聞く。バイオマスボイラーは木材をチップにして原料にするが、天童市の林野行政が見えてこない。森林組合が原料を卸すなど、エコな取組みに寄与できるような考え方を行政で持ってほしい。</p>	<p>議員 所管課に伝える。</p> <p>(調査結果) 木質バイオマスは、間伐材や建築廃材、木材加工時の端材のチップなどの再生可能な、生物由来の有機性資源のことを表す。エネルギーとして利用する際は、カーボンニュートラル(二酸化炭素の吸収量と排出量が実質ゼロ)な特性を有するとされており、企業の二酸化炭素排出量の削減にも貢献できると言われている。 木質バイオマスによる発電を行</p>

		<p>う場合には、地域の森林資源を計画的に活用する必要があることから、天童市森林組合と情報を共有するとともに、実現の可能性も含めて組合の意向を確認していく。</p> <p>しかし、このような環境に配慮した取組を進めていく必要があることは承知しているが、当該組合の職員体制や木質バイオマスの供給体制を考慮すると、現時点では難しい。</p>
7 所 感	<p>6 人のみの参加であり、参加者が少なく残念に感じた。</p> <p>内容としては貴重なご意見を多数いただき、有意義な会であった。</p> <p>今後、施策を検討する際の参考にしていく。</p>	